

平成29年度 第70回北海道高等学校サッカー選手権大会  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選 函館支部予選会

平成29年度 第6回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選 函館支部予選会

開 催 要 項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 平成29年度 第70回北海道高等学校サッカー選手権大会  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選 函館支部予選会  
  
平成29年度 第6回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選 函館支部予選会
- 3 主 催 北海道高等学校体育連盟函館支部・函館地区サッカー協会
- 4 主 管 北海道高等学校体育連盟函館支部サッカー専門部・函館地区サッカー協会2種委員会
- 5 当 番 校 北海道函館工業高等学校 〒041-0844 北海道函館市川原町5番13号  
T E L 0138-51-2271 F A X 0138-51-2273
- 6 期 日 平成29年 5月22日(月)～25日(木) 4日間  
22日(月) 9:00 開会式 (函館FP会議室)  
10:30 競技開始 (函館FP人工芝1面)  
12:00 女子決勝 (函館FP人工芝C面)  
23日(火) 10:00 競技開始 (函館FP人工芝2面)  
24日(水) 10:00 競技開始 (函館FP人工芝2面)  
25日(木) 10:00 男子準決勝 (函館FP人工芝2面)  
14:00 男子決勝 (函館FP人工芝C面)  
14:00 男子3位決定戦 (函館FP人工芝D面)  
終了後 閉会式
- 7 会 場 函館フットボールパーク人工芝
- 8 参 加 資 格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本競技専門部に登録し、本競技実施要項により大会参加の資格を得たものに限る。  
(3) 平成29年度(公財)日本サッカー協会に登録を完了したものとする。  
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意志のある者  
(5) 年齢は、平成10(1998)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での競技出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。  
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。  
(7) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

- (9) 転校後6カ月未満のもの(全道大会日起算)は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、年度をまたぐ場合、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (10) 登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付)を所持すること。ただし、電子登録証(写真登録済)が確認出来る場合は出場を認める。
- (11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (12) 参加資格の特例
  - ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、本競技実施要項により大会参加資格を満たした生徒について、別に定める規定に従い大会参加を認める。
  - イ 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

#### 【大会参加資格の別途定める規定】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあっては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ全道大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 9 チーム編成
  - (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名)及び選手(20名以内)とする。
  - (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場することができるのは2名以内とする。

- 10 競技規則
  - (1) 平成29年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
  - (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、4名まで主審の許可を得て交代することができる。
  - (3) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
  - (4) 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。

- (5) ユニフォームについて
- ア シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から20番までの番号とする。)副ユニフォームについても同様である。
  - イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)
  - ウ 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
  - エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならぬ。
  - オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。

- 11 競技方法 (1) トーナメント方式により函館支部代表を決定する。  
(2) 試合時間は、1回戦から決勝まで70分間(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により、次回戦進出校及び優勝校を決定する。

- 12 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

- 13 参加申込 ※個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込方法

ア 参加意思確認書を平成29年4月27日(木)16:00までに下記にE-mailで送信すること。

イ 所定の申込用紙に必要事項を記入して、一通はE-mailで、一通(学校長の職印のあるもの)は監督主将会議に持参、または郵送で下記に送付すること。

(2) 申込先 〒041-0844 北海道函館市川原町5番13号  
北海道函館工業高等学校 サッカ一部顧問 濱田 宛

(3) 申込締切期日 E-mail : 平成29年5月1日(月) (16:00必着)  
職印有 : 平成29年5月8日(月)監督会議提出

郵送の場合 平成29年5月2日(火) (当日消印有効)

(4) 登録変更 登録選手の変更は3名以内とし、変更用紙に必要事項を記入し一通はできるだけ早くE-mailで当番校に送信すること(平成28年5月15日(月)12:00必着)。一通(学校長の職印のあるもの)は開会式の際に提出すること。なお、番号、ユニフォームの色の変更は認めない。

- 14 参加料 (1) 選手1名につき400円。高等専門学校は選手1名につき500円。  
(2) 監督主将会議の当日持参し、会議前に受付で納入する。なお、会議欠席の場合は会議当日までに郵送すること。(当日消印有効)

15 表彰 <男子>

(1) 優勝以下第4位まで賞状を授与する。優勝校、準優勝校には優勝旗・優勝杯、準優勝旗・準優勝杯を授与し表彰する。

- (2) 優勝校、準優勝校には、6月13日より函館で開催される北海道高等学校サッカー選手権大会への出場資格を与え出場を義務付ける。

<女子>

- (1) 優勝校、準優勝校には賞状を授与する。  
(2) 優勝校・準優勝校には、6月13日より函館で開催される北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技への出場資格を与え出場を義務付ける。

16 諸 会 議	(1) 専門委員会	5月8日(月)	14:30	北海道函館工業高等学校	会議室
	(2) 監督主将会議	5月8日(月)	16:30	北海道函館工業高等学校	会議室
	(3) 開会式	5月22日(月)	9:00	函館FP人工芝	会議室
	(4) 閉会式	5月25日(木)	決勝戦終了後	函館FP人工芝	

- 17 組合抽選会 監督主将会議の際に公開で実施する。なお、参加校監督・主将も参加することができるが、参加できない学校は専門委員会に委任し、欠席することができる。

- 18 そ の 他
- (1) 平成29年度高体連函館支部春季サッカー大会の優勝以下第4位までをシードする。
  - (2) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
  - (3) 出場校は、開会式の際に選手証(写真貼付)を持参し選手資格の確認を受けること。電子証(写真貼付)も可とする。
  - (4) 男子代表決定戦、女子決勝戦では、試合開始70分前に両監督が参加し、ミーティングを実施する。そこで、選手証(写真貼付)を必ず持参し、登録選手(20名)のチェックやユニフォームの色の決定などを行う。
  - (5) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。尚、参加者は健康保険証を持参すること。
  - (6) 不測の事態により、競技に影響がある場合は、専門委員会、当番校で協議し対応を決定する。また、競技の中断・順延・中止・再開方法については別途定める。(試合途中の中断から翌日延期の場合は中断時点からの再開とする。)
  - (7) ベンチに入れる人数はスタッフ(5)、交代要員(9)の14名以内とする。  
※( )内の数字はともに最大数
  - (8) ベンチの交代要員は試合に影響がない色のビブスの着用を義務付ける。
  - (9) 試合開始前、終了後のセレモニーはワールドカップ方式とする。
  - (10) 試合後の相手ベンチへの挨拶は速やかに行い、自ベンチは直ちに空けること。また、応援席への挨拶はピッチ外を歩いて行き、競技運営に支障の無いよう配慮すること。
  - (11) 茶髪・金髪・髭などは教育的措置として禁止する。
  - (12) 今大会優勝以下第4位までを高校選手権函館地区大会においてシードする。
  - (13) 試合球は2種委員会の芝用ボールを使用する。(コート: 緑、コート: ミカ)